

令和2年度 横浜市公園愛護会表彰

永年、公園愛護会活動にご尽力いただき、その功績が顕著である愛護会長の皆様が、横浜市公園愛護会個人表彰を受賞されました。受賞された皆様、誠におめでとうございます。

★「個人表彰」受賞者 60名 敬称略 ★

【鶴見区】池田昇、今井昭吾、眞主規、小林恭二
 【神奈川区】小林一郎、佐藤嘉秀、鶴井謙志、野中慧次、宮内茂
 【西区】鈴木良夫、松本 道雄【中区】島山 仁大【南区】大橋 慎、木村 玲子、河野 正敏、武川 勝久
 【港南区】井出 恵章、高橋 隆英、富程 光昭、鳥越 文子【保土ヶ谷区】藤 洋之、池田 親政、羽根 一男、溝田 豊
 【旭区】岩崎 剛太郎、根岸 みどり、林 多美男【磯子区】井上 幸彦
 【金沢区】相川 正昭、青木 敏雄、若宮 恵美、上島 知男、白井 一也
 【港北区】秋山 恵子、荒巻 喜代子、加藤 修、金子 幹雄、黒田 寿治、柿田 健男
 【緑区】川戸 常清、永重 洋弘、福井 小百合
 【青葉区】市瀬 栄一、大野 浩二、高田 一、武内 和雄
 【都筑区】金子 進、桑原 正盛、遠知 康文、三好 敬
 【戸塚区】飯島 忠義、伊東 春雄、岩崎 幸彦、北村 彰二、轟橋 武久、雲崎 正晴、渡辺 光雄
 【栄区】小泉 安行【泉区】佐野 瑞晃【瀬谷区】雷川 肇



なお、例年は、市内の会場に受賞者の皆様にお集まりいただき、表彰式を開催しておりますが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の状況を考慮し、全市統一の表彰式の開催を中止しました。表彰状の授与は各区・環境創造局（土木事務所・公園緑地事務所）にて行われました。また、特色がある取組や活発な活動が行われている愛護会を表彰する「団体表彰」は中止しました。

荇子田太陽公園愛護会が第27回横浜環境活動賞市民の部実践賞を受賞！

横浜環境活動賞は、地域で様々な環境保全・再生・創造の取組を積極的にやっている個人・団体、企業、児童・生徒・学生の皆様を表彰する制度です。この度、荇子田太陽公園愛護会が第27回横浜環境活動賞市民の部実践賞を受賞しました。おめでとうございます。

【活動概要】

ボランティアによる公園の緑化とバラ園の管理運営により、地域福祉の向上を目指しています。平成16年から毎年5月に開催しているローズフェスティバルには毎年3,000人以上が訪れています。バラを見るおすすすめスポットとして園芸誌でも紹介されました。令和元年4月に太陽コースハウスが完成し、活動拠点・講堂会場として活用されています。



荇子田太陽公園（バラ園）全景

（横浜市ホームページ「第27回横浜環境活動賞」掲載ページより）

さらに、10月28日 一般社団法人日本公園緑地協会主催の「第36回都市公園等コンクール」においても「国土交通省都市局長賞」を受賞されました！ おめでとうございます！

公園の維持管理・公園愛護会通信の配布部数に関するお問合せは、各土木事務所・公園緑地事務所にお問い合わせ。

※バックナンバーは横浜市公園愛護会のホームページから閲覧できます。

発行/横浜市環境創造局公園緑地課 〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10(27F)

電話: 045-671-2650 FAX: 045-604-2588 Eメールアドレス: ks-aigokai@city.yokohama.jp 発行月: 令和2(2020)年12月1日

回覧

公園を見守り 安全に遊んでもらおう

公園愛護会の皆様へ

公園愛護会の皆様には、日頃より愛護会活動の中で、子どもたちの見守り等、ご尽力いただきありがとうございます。もし遊具等に破損や落書きを発見した場合は、お近くの土木事務所または公園緑地事務所にご連絡くださいますようお願いいたします。



ありがとうございます



遊具には対象年齢等シールを貼っており、遊ぶ際の目安にいただいています。

遊具の安全管理について

横浜市では、年に4回、遊具などの定期点検を実施し、事故の防止と施設の長寿命化に努めています。例えば、ブランコのチェーンが擦り減っている場合は、摩耗の度合いを確認し、部材の交換等を行っています。

遊具の安全な遊び方リーフレット

横浜市では、遊具で遊ぶときの正しい服装や利用の仕方について、イラスト入りで分かりやすく解説したリーフレット「公園であそぼううぐであそぼう」を作成しています。リーフレットは毎年各区の3歳児健診の際、保護者の方に配布（約3万部）しています。愛護会でも是非ご利用ください。必要な場合は、所管の事務所までお問い合わせください。



公園へGO!! ボランティア活動中
公園愛護会
 通信73号

2020.12月発行

公園愛護会通信は、公園愛護会活動がより活発に行われるように、活動に関する情報提供や、活動の事例紹介等を行うための情報誌です。

花壇の手入れをしてみよう

春に向けて今できること



春にきれいな花壇
が見れたらいいな

公園愛護会キャラクター
あいごほん



春花壇の準備はできていますか？
冬だからこそやっておくと良い作業があります！

北風の吹き付ける寒い冬。でも花壇にとっては
生き生きとした土を作るための大事な季節です。

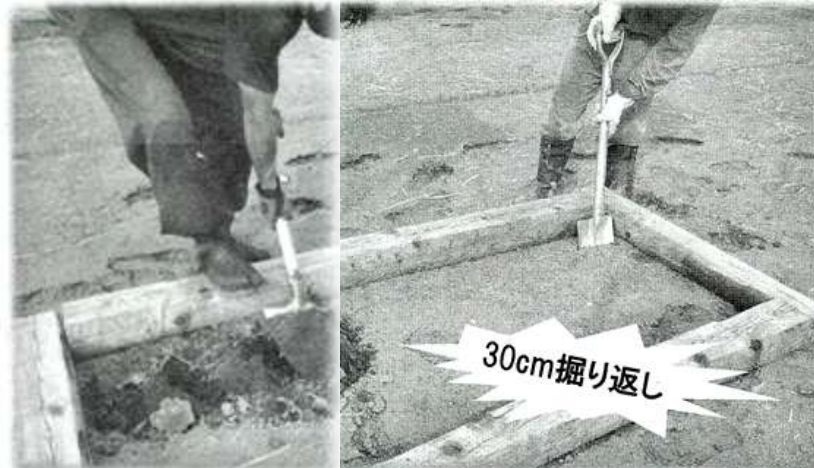
寒ざらしをしてみましよう！

寒ざらしとは…

花壇の土は、栽培を繰り返していると硬くなり、草花の生育が悪くなります。そこで、作業の少ない寒い時期、花壇の土を30cmほどの深さで掘り返してみましよう。これを寒ざらしといひます。

作業の効果

寒気に当たって害虫を退治できたり、土の通気性がよくなるなどの効果があります。



※ やってみよう！

寒ざらしをするとき、一緒にたい肥等をすき込むとさらに効果的です。

注意点

たい肥を使用する場合は、悪臭等を防ぐため、完熟した腐葉土、パークたい肥、油粕等を使用ましよう。



花壇にウッドチップでマルチングを行った例

たい肥でマルチング

マルチングとは…

農作業などで行われ、乾燥を防ぐために植物の根元をシートやたい肥などで覆うことです。

作業の効果

土に直接日光が当たれば表面は乾燥して温度も上がり、表面近くの植物の根は強くダメージを受けます。マルチングを行うことで、水分の蒸発を抑制し乾燥を防ぎます。また、急激な温度変化が緩和されるため、にとって快適な環境をつくる手助けとなります。

はまっ子ユーキの活用

「はまっ子ユーキ」は横浜市内の公園や街路樹の維持管理作業から出された剪定枝や刈草などを再資源化しており、植物発生材のみが原材料となっているたい肥です。一般の方も購入できます。

- ・袋詰め (10kg) 210円/袋
 - ・バラ積み 58円/10kgあたり
- 【販売場所】 緑のリサイクルプラント
【営業日】 月曜日～金曜日
9時～12時、13時～17時
【所在地】 旭区上白根町1442-5
(横浜動物の森公園内)
【電話】 045-958-3028